

放課後等デイサービス事業所 訪問調査報告書										
法人種別	社会福祉法人		事業所種別	重症心身障害児型		事業所名	12-13	調査日	2018/1/18	
重心登録人数	23名	1日平均	3.5名	重心送迎	迎え 16回/週 2.7回/日		送り 16回/週 2.7回/日			
医ケア児登録人数	18名	1日平均	2.7名	医ケア児送迎	迎え 12回/週 2.0回/日		送り 12回/週 2.0回/日			
ケア内容	口腔鼻腔内吸引	17名	医 ケ ア 児 の 送 迎 に つ い て	対象者	6名		送迎距離		対象者のケア内容	
	気管カニューレ内吸引	10名		送迎時間		2km未満	0名	口腔鼻腔内吸引	4名	
	胃ろう・腸ろう	16名		30分未満	2名	2~5km	0名	気管カニューレ内吸引	0名	
	経管栄養	2名		30~45分	9名	5~10km	0名	胃ろう・腸ろう	1名	
	人工呼吸器	5名		45分以上	1名	10km以上	12名	経管栄養	0名	
	在宅酸素	6名		添乗職員のパターン				人工呼吸器	0名	
看護職員の平均述べ勤務時間	8時間/日		・看護職のみ ・非医療職のみ ・看護職含む複数事業所職員				在宅酸素	1名		
事業所について										
立地	千葉県佐倉市		周辺の状況	駅から徒歩15分程度 周辺は農地		定員	5名	活動日	6日	
事業形態	生活介護、児童発達支援を含む多機能型事業所								合計定員20名	
職員体制		常勤	パート	1日平均	勤務時間					
	看護職員	1	8		パートのうち4名が通学先特別支援学校と兼務					
	児童指導員・保育士	10	20~25							
	介護職 他				※援助体制は1:1が基本					
	PT									
運転士			9							
事業実施範囲	原則として送迎時間30分まで。ただし、40分を要するケースもあり									
事業実施時間	14:00に学校へお迎え 終了は17:30帰宅									
協力医療機関	隣接の同一法人の診療所（月2回訪問診察）									
	20km 車で30分程度のところに国立療養所									
その他連携可能な社会資源(訪問看護等)	隣接に同一法人の介護保険事業所、訪問看護事業所あり									
	職員が同一法人の居宅介護事業所のホームヘルパーを兼務している。									
利用者について										
通学先	主に2箇所 特別支援学校(11km)、特別支援学校(18km) 他に4箇所の特別支援学校									
通学していない例はあるか	母子家庭で、車の運転ができない等、家庭都合によりあり。									
利用受入の範囲	医ケアの有無で受入に差はない									
主たる介護者が就労している例はどのくらいあるか	就労している場合が多い。									
学校への登校は誰が行っているか(わかる範囲で)	家族による送迎が多い									
	医療的ケアがあるとスクールバスに乗れない									
毎日、登校できているか	週2~3日の例もある。									

送迎体制		
送迎可能な範囲	車で30～40分、学校までは車で1時間まで	
医療的ケア	呼吸障害があり、送迎中吸引が必要な場合は、看護師の配置による。	
送迎車両	6台 生活介護等と兼用	
台数の内訳	5台 リフトタイプ車椅子ワゴン車(ハイエース) ・ 1台 軽自動車	
何コースあるか	迎え 2コース	8:30 生活介護の送迎
	送り 9コースまで	14:30 生活介護帰りの送迎
二便・三便は?	なし	学校へのお迎え
一台に乗る人数	2名が多い	17:30 放課後等デイ帰りの送迎
運転は誰が	運転は運転士を雇用	
添乗職員	運転に1名、添乗に1名 支援員が運転するコースもある。 非医療職で医療的ケア児に対応する職員が2名あり	
送迎中の医療的ケアについて	医療的ケアの内容	主に吸引と見守り
	実施者	看護師 ・ 非医療職で医療的ケア児に対応する職員が2名あり
	どうやって行うか	駐車場に止めて行う
	車両を止めるかどうか	コースの途中にいつも止める場所があり、支援員が指示し、停車する。
	どこに止めるか	
	もっていく機材	利用者個人の吸引器、モニタリング機器 事業所としてもっていく機材はない
	送迎実施範囲に影響はあるか	
	送迎の体制・規定	
	マニュアルの有無	送迎マニュアルがある。
	緊急時の体制は?	添乗者から施設看護師に連絡し、指示を受ける
家族・医師の同意は?	てんかんと呼吸発作がある場合は、主治医に相談し、緊急時マニュアルを作成してある。家族の依頼書と同意書も取得する。	
認定特定行為従事者の場合、実施者の選定方法は?	施設側から、支援員を選定し、3号研修を受講してもらう。 12～13名修了しているが、添乗時に医療的ケアを行なうのは2名のみ	

放課後等デイサービス事業所 訪問調査報告書

法人種別	社会福祉法人	事業所種別	重症心身障害児型	事業所名	23-3	調査日	2018/1/16		
重心登録人数	20名	1日平均	5.5名	重心送迎	迎え 34回/週 4.9回/日	送り 40回/週 5.7回/日			
医ケア児登録人数	12名	1日平均	3.5名	医ケア児送迎	迎え 22回/週 3.1回/日	送り 18回/週 2.6回/日			
ケア内容	口腔鼻腔内吸引	10名	医ケア児の送迎について	対象者	8名	送迎距離		対象者のケア内容	
	気管カニューレ内吸引	5名		送迎時間		2km未満	0名	口腔鼻腔内吸引	6名
	胃ろう・腸ろう	10名		30分未満	8名	2～5km	8名	気管カニューレ内吸引	5名
	経管栄養	1名		30～45分	0名	5～10km	0名	胃ろう・腸ろう	0名
	人工呼吸器	1名		45分以上	0名	10km以上	0名	経管栄養	0名
	在宅酸素	4名		添乗職員のパターン				人工呼吸器	0名
看護職員の平均述べ勤務時間	6.6時間/日	・看護職含む複数事業所職員				在宅酸素	3名		
事業所について									
立地	愛知県名古屋市南部	周辺の状況	地下鉄駅から徒歩10分程度 市街地			定員	5名	活動日	7日
事業形態	生活介護を含む多機能型事業所 合計定員20名								
職員体制		常勤	パート	1日平均	勤務時間				
	看護職員	3			他2事業所へ応援あり				
	児童指導員・保育士	1	1	1	※援助体制は1:1が基本				
	介護職 他	1	2						
	PT	1							
運転士		1							
事業実施範囲	港区・瑞穂区・中川区・熱田区 原則として送迎時間30分まで								
事業実施時間	13:00から利用可 通常は学校が終わる14:00からと15:00から(学年による) 終了は17:00まで								
協力医療機関	近隣のクリニック 月1回訪問診察あり								
	隣接区の病院 緊急時の搬送								
その他連携可能な社会資源(訪問看護等)	児童相談所								
利用者について									
通学先	主に2箇所 県立特別支援学校(1400m)、小学校(8km)								
通学していない例はあるか	あり								
利用受入の範囲	医ケアの有無で受入に差はない								
主たる介護者が就労している例はどのくらいあるか 就労していない場合が多い。就労は数例のみ									
学校への登校は誰が行っているか(わかる範囲で)	家族による送迎が多い 移動支援や福祉有償輸送を使用する例もある。								
毎日、登校できているか	特別支援学校で看護師が配置できている日は通学が可。 毎日配置できるわけではない。								

送迎体制		
送迎可能な範囲	車で45分、5kmまで	
医療的ケア	医療的ケアで受入不可な例はない。	
送迎車両	2～3台	
台数の内訳	3台 リフトタイプ車椅子ワゴン車(キャラバン、ハイエース) 1台 スロープタイプ車椅子仕様車(ノア)	
何コースあるか	迎え 2 コース 14:00に1～2台、15:00に1～2台 送り 2 コース程度が多い	
二便・三便は?	なし	
一台に乗る人数	3名が多い ・ 週3日利用が多い	
運転は誰が	運転は支援員が多い(福祉有償輸送研修を受講)	
添乗職員	運転に1名、添乗に1～2名 2名の場合はうち1名が看護師 送迎中に医療的ケアがなければ、支援員 2コースのうち1コースは看護師が添乗する。	
送迎中の医療的ケアについて	医療的ケアの内容	主に吸引と見守り
	実施者	看護師
	どうやって行うか	
	車両を止めるかどうか	路肩に止めて実施
	どこに止めるか	
	もっていく機材	利用者個人の吸引器、モニタリング機器 事業所としてもっていく機材はない
	送迎実施範囲に影響はあるか	
	送迎の体制・規定	
	マニュアルの有無	事故対応マニュアルがある。発作対応時のマニュアルをもっていく。
	緊急時の体制は?	利用者ごとの緊急用シートあり。緊急時は直接119
家族・医師の同意は?	送迎として特に同意はとっていない	
認定特定行為従事者の場合、実施者の選定方法は?	非医療職の喀痰吸引は送迎中は行なわない。 PTが添乗する場合は、吸引を行っている。	

放課後等デイサービス事業所 訪問調査報告書

法人種別	特定非営利活動法人	事業所種別	重症心身障害児型	事業所名	23-14	調査日	2018/1/16		
重心登録人数	28名	1日平均	5名	重心送迎	迎え 30回/週 5.0回/日	送り 33回/週 5.5回/日			
医ケア児登録人数	20名	1日平均	3名	医ケア児送迎	迎え 18回/週 3.0回/日	送り 18回/週 3.0回/日			
ケア内容	口腔鼻腔内吸引	20名	医ケア児の送迎について	対象者	19名	送迎距離		対象者のケア内容	
	気管カニューレ内吸引	10名		送迎時間		2km未満	6名	口腔鼻腔内吸引	19名
	胃ろう・腸ろう	16名		30分未満	19名	2～5km	8名	気管カニューレ内吸引	9名
	経管栄養	2名		30～45分	0名	5～10km	2名	胃ろう・腸ろう	0名
	人工呼吸器	2名		45分以上	0名	10km以上	2名	経管栄養	0名
	在宅酸素	5名		添乗職員のパターン				人工呼吸器	2名
看護職員の平均述べ勤務時間	21時間/日	・看護職のみ ・非医療職のみ ・看護職含む複数事業所職員				在宅酸素	4名		
事業所について									
立地	愛知県名古屋市北部	周辺の状況	駅から徒歩10分程度 市街地			定員	5名	活動日	6日
事業形態	同一敷地内に児童発達支援事業所あり								
職員体制		常勤	パート	1日平均	勤務時間				
	看護職員	1	5	1～2	6～7時間/人				
	児童指導員・保育士	1	4	2～	6～7時間/人				
	介護職 他				※援助体制は1:1が基本				
	PT								
運転士	0	0		なし					
事業実施範囲	原則として送迎時間30分まで。								
事業実施時間	13:00から利用可 通常は学校が終わる14:00からと15:00から(学年による) 終了は17:00まで								
協力医療機関	近隣のクリニック 月1回往診あり 指示書は主治医から								
その他連携可能な社会資源(訪問看護等)	療育センター 児童相談所 学校の周辺に放課後等デイは多いが、重心対応は他に一か所のみ								
利用者について									
通学先	1箇所 (県立特別支援学校 300m)								
通学していない例はあるか	あり/学校に籍のみ								
利用受入の範囲	医ケアの有無で受入に差はない								
主たる介護者が就労している例はどのくらいあるか 就労していない場合が多い。									
学校への登校は誰が行っているか (わかる範囲で)	家族による送迎が多い								
毎日、登校できているか	毎日できている。 特別支援学校の看護師配置が週3回のため、他は家族が付き添う必要あり								

送迎体制		
送迎可能な範囲	車で30分が原則（最大40分までの例外あり）それ以上長くなると、家族送迎を依頼する。	
医療的ケア	医療的ケアで受入不可な例はない。	
送迎車両	4台	
台数の内訳	3台 スロープタイプ車椅子仕様車(ノア)・1台 普通軽自動車	
何コースあるか	迎え 時間ごとに迎えに行く。学校から事業所までは雨の日等以外は歩き 送り 4コース 4台同時に送迎車が出る 2時と3時に二回迎えに行く	
二便・三便は?	なし	
一台に乗る人数	2名	
運転は誰が	運転は支援員	
添乗職員	送迎中に医療的ケアがある場合は、看護職員 送迎中に医療的ケアがなければ、支援員 軽自動車は運転する職員1名のみの場合もある。	
送迎中の医療的ケアについて	医療的ケアの内容	主に吸引と見守り
	実施者	看護師
	どうやって行うか 車両を止めるかどうか どこに止めるか	運行中に実施
	もっていく機材	利用者個人の吸引器、モニタリング機器 事業所としてもっていく機材はない
	送迎実施範囲に影響はあるか	40分以上送迎に時間がかかる場合は、家族に依頼する。
	送迎の体制・規定	
	マニュアルの有無	事故対応マニュアルがある。
	緊急時の体制は?	利用者ごとの緊急用シートあり。緊急時は直接119
	家族・医師の同意は?	送迎として特に同意はとっていない
	認定特定行為従事者の場合、実施者の選定方法は?	非医療職の喀痰吸引はできていない。今後、実施したい意向あり

放課後等デイサービス事業所 訪問調査報告書

法人種別	特定非営利活動法人	事業所種別	重症心身障害児型	事業所名	34-4	調査日	2018/3/9		
重心登録人数	16名	1日平均	5名	重心送迎	迎え 12回/週 2.0回/日	送り 6回/週 1.0回/日			
医ケア児登録人数	16名	1日平均	5名	医ケア児送迎	迎え 24回/週 4.0回/日	送り 30回/週 5回/日			
ケア内容	口腔鼻腔内吸引	5名	医ケア児の送迎について	対象者	16名	送迎距離		送迎中のケア内容	
	気管カニューレ内吸引	2名		送迎時間		2km未満	2名	口腔鼻腔内吸引	
	胃ろう・腸ろう	2名		30分未満	11名	2～5km	4名	気管カニューレ内吸引	2名
	経管栄養	1名		30～45分	1名	5～10km	4名	胃ろう・腸ろう	
	人工呼吸器	0名		45分以上	4名	10km以上	6名	経管栄養	
	在宅酸素	0名		添乗職員のパターン				人工呼吸器	
看護職員の平均述べ勤務時間	8時間/日	・看護職含む複数事業所職員				在宅酸素			
事業所について									
立地	広島県東広島市	周辺の状況	駅から徒歩10分程度 周辺は郊外			定員	5名	活動日	6日
事業形態	児童発達支援との多機能型 定員5名								
職員体制		常勤	パート	1日平均	勤務時間				
	看護職員	1	4	パート3名	パート1日7～8時間勤務				
	児童指導員・保育士	2	3	パート2名					
	介護職 他				※援助体制は1:1が基本				
	PT								
運転士		1							
事業実施範囲	原則として主な迎え先の特別支援学校の在籍者であれば対応する。 特例で、片道50分の例あり (気管切開・胃ろうがあり、近くに対応可能な事業所がないため)								
事業実施時間	14:00に学校へお迎え 終了は17:30帰宅								
協力医療機関	2km 程度のところに病院 緊急時搬送等								
その他連携可能な社会資源(訪問看護等)	隣接に同一法人の放課後等デイサービス事業所あり								
利用者について									
通学先	主に1箇所 (特別支援学校 7km)								
通学していない例はあるか									
利用受入の範囲	医ケアの有無で受入に差はない								
主たる介護者が就労している例はどのくらいあるか	30%程度が就労								
学校への登校は誰が行っているか (わかる範囲で)	家族による送迎が多い。スクールバスが廃止され、帰りのみタクシー利用ができるがルートが限られている。 重度障害者は広島市内へ転居する例が多い								
毎日、登校できているか									

送迎体制		
送迎可能な範囲	車で30～45分、特例で50分あり	
医療的ケア	医療的ケアは看護師が実施する。	
送迎車両	5台	
台数の内訳	1台 リフトタイプ車椅子ワゴン車(ハイエース) 3台 スロープタイプ車椅子仕様車(ノア等) 1台 軽自動車	
何コースあるか	迎え 1コース 2便体制 1便あたり1～2台 送り 5コースまで	
二便・三便は?	学校迎えは2便	
一台に乗る人数	2～4名	
運転は誰が	運転士1名のためのため、支援員が運転も行う。	
添乗職員	運転に1名、添乗に1名 支援員が運転するコースもある。	
送迎中の医療的ケアについて	医療的ケアの内容	主に吸引と見守り
	実施者	看護師。 非医療職による医療的ケアは行なわない。
	どうやって行うか 車両を止めるかどうか どこに止めるか	駐車場や路肩に止めて行う
	もっていく機材	利用者個人の吸引器、モニタリング機器 事業所としてもっていく機材はない
	送迎実施範囲に影響はあるか	
	送迎の体制・規定	
	マニュアルの有無	看護師間で話し合いを行う。
	緊急時の体制は?	添乗者から管理者に連絡し、指示を受ける
	家族・医師の同意は?	なし
	認定特定行為従事者の場合、実施者の選定方法は?	なし

放課後等デイサービス事業所 訪問調査報告書

法人種別	一般社団法人	事業所種別	重症心身障害児型	事業所名	41-5	調査日	2018/3/8		
重心登録人数	20名	1日平均	4.5名	重心送迎	迎え 24回/週 4.8回/日	送り 20回/週 4回/日			
医ケア児登録人数	21名	1日平均	4.5名	医ケア児送迎	迎え 20回/週 4回/日	送り 19回/週 3.8回/日			
ケア内容	口腔鼻腔内吸引	8名	医 ケ ア 児 の 送 迎 に つ い て	対象者	10名		送迎距離	対象者のケア内容	
	気管カニューレ内吸引	3名		送迎時間		2km未満	0名	口腔鼻腔内吸引	8名
	胃ろう・腸ろう	6名		30分未満	2~5km	0名	気管カニューレ内吸引	3名	
	経管栄養	3名		30~45分	5~10km	4名	胃ろう・腸ろう	0名	
	人工呼吸器	0名		45分以上	10km以上	6名	経管栄養	0名	
	在宅酸素	1名		添乗職員のパターン			人工呼吸器	0名	
看護職員の平均述べ勤務時間	16時間/日	・看護職含む複数事業所職員				在宅酸素	0名		
事業所について									
立地	佐賀県小城市	周辺の状況	駅から徒歩10分程度 周辺は農地 隣接地に病院あり			定員	5名	活動日	3日
事業形態	生活介護と重心型放課後等デイの多機能型事業所 定員5名 放課後等デイ10名(非重心型)								
職員体制		常勤	パート	1日平均	勤務時間				
	看護職員	1	5	1~3名					
	児童指導員・保育士	5	1						
	介護職 他								
	PT								
	運転士		2		片道1名/日				
事業実施範囲	特に制限は設けていない。								
事業実施時間	14:00に学校へお迎え 終了は17:30帰宅								
協力医療機関	5km程度のところに大学病院あり緊急時の対応等を実施 嘱託医(70kmの距離 病院)は予防接種、感染症、医療的ケア等の相談を依頼								
その他連携可能な社会資源(訪問看護等)	なし								
利用者について									
通学先	主に一箇所 特別支援学校(12km) その他 特別支援学校3箇所 普通学校の特別支援クラス3箇所								
通学していない例はあるか									
利用受入の範囲	特に制限は設けていない。自宅まで20kmの利用例もある。 県内に重心デイが他に一か所しかないため、広域で受入を行っている。 医ケアの有無で受入に差はない								
主たる介護者が就労している例はどのくらいあるか									
学校への登校は誰が行っているか(わかる範囲で)	特別支援学校にスクールバスが昨年からは出来たが、看護師の添乗はな 家族が送迎を行っている。								
毎日、登校できているか	できている。								

送迎体制		
送迎可能な範囲	20kmまで送迎例あり	
医療的ケア	送迎中吸引が必要な場合は、看護師が行う	
送迎車両	4台 生活介護等と兼用	
台数の内訳	2台 リフトタイプ車椅子ワゴン車 2台 スロープタイプ車椅子仕様車(ノア・タント) その他普通乗用車 ワゴン車のほうが医療的ケアがしやすい。	
何コースあるか	迎え その日の利用者による。 送り 5 コース	
二便・三便は?	あり。 生活介護と車両、ドライバーを共有	
一台に乗る人数	車イス使用者の場合、4台まで ワゴン車は最大6名	
運転は誰が	運転は運転士を雇用	
添乗職員	運転に1名、添乗に1名 支援員が運転するコースもある。 職員1名のみで送迎する例もある。	
送迎中の医療的ケアについて	医療的ケアの内容	口腔内吸引が多い
	実施者	看護師のみ
	どうやって行うか	
	車両を止めるかどうか	駐車場や路肩に止めて行う
	どこに止めるか	
	もっていく機材	利用者個人の吸引器、モニタリング機器 他手袋、マスク
	送迎実施範囲に影響はあるか	なし
	送迎の体制・規定	
	マニュアルの有無	送迎マニュアルがある。
	緊急時の体制は?	添乗者から施設に連絡し、指示を受ける。緊急時には大学病院へ搬送する。
家族・医師の同意は?	医師の指示のみ。	
認定特定行為従事者の場合、実施者の選定方法は?	施設側から、支援員を選定し、3号研修を受講してもらう。 4名修了しているが、添乗時に医療的ケアを行なうことはない。	